



導電性のある母材に関する情報

この情報は、アングルグラインダーを金属あるいはカーボンファイバーなどの導電性のある母材で使用する多くのお客様向けのものです。

このような母材の加工では、導電性のある小片がアングルグラインダーのボディ内にたまり、感電の危険が高まる場合があります。

導電性のある母材の加工に留意して作業場を分析して作業の安全性を確保することは、雇用者が行うべき事項です。この危険分析を基にして、アングルグラインダーのメンテナンス間隔を定めることができます。アングルグラインダーが故障する前に整備を行うのが原則です。

アングルグラインダーの内部に導電性のある小片がたまるので、メンテナンス作業では、解体、内部の清掃および／あるいは部品の交換が必要となる場合があります。

漏電遮断機、絶縁変圧器の使用といった追加の安全対策も有効です。

さらに、国別の安全および整備規定にも注意してください。

- 欧州の例：欧州ガイドライン 2009/104/EC「労働における被雇者の作業具の使用における安全および健康保護に関する最低必要事項」
- ドイツ連邦共和国の例：DGUV 規定 3 (旧 BGV A3)「電気施設および資材」
- 他の国の情報につきましては、お客様の国の労働安全所轄官庁／機関にお問い合わせください。